

★ センターからのお知らせ ★

◆ 世界エイズデー in Yokohama 2019 終了しました！

日時：2019 年 11 月 30 日 (土) 11:00~16:30
会場：新都市プラザ (横浜駅東口)
主催：横浜 AIDS 市民活動センター
参加団体：認定 NPO 法人 AIDS ネットワーク横浜、特定非営利活動法人 SHIP
アジアの女性と子どもネットワーク、公益財団法人横浜 YMCA
一般社団法人神奈川県臨床検査技師会 STI 予防啓発委員会、



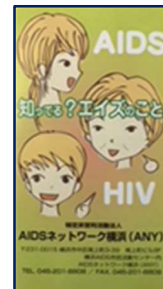
広報よこはま 11 月号「は
ま情報」でも周知を行い、
たくさんの方にお越しいた
だきました。
当日は「HIV 感染症・エイ
ズ」のパンフレットやレッ
ドリボンシールのついたバ
ルーンアートも配布しまし
た。

◆ 啓発パンフレット・チラシのご案内

横浜 AIDS 市民活動センターは横浜市内でエイズに関連する活動を行う学校・団体・
ボランティアに啓発パンフレット、チラシ等を無料で配布しています。エイズ以外に
性感染症・性に関する様々な種類があります。お気軽にご相談ください。



左) HIV 検査・相
談マップの
HIV まめ知識
カード
他に 4 種類あ
ります。



右) 特定非営利活動法人
SHIP のセクシュアルマイ
ノリティへの支援「SHIP に
じいるキャビン」の家族向
けパンフレット



左) 横浜市内で夜間休日エイ
ズ電話相談をしている
AIDS ネットワーク横浜
のパンフレット

<NPO/NGO 情報>



上) NGO LAP が行ってい
る HIV 陽性者・免疫機能
障害者のためのグルー
プミーティングのカード

◆ 2020 年度青少年向け啓発事業の募集について

横浜 AIDS 市民活動センターが行う 2020 年度青少年向け啓発事業の募集受付は、2020 年
4 月初旬より予定しています。(応募要項は 3 月下旬にセンターの HP に掲載予定。横浜市内の
小中高校には要項を送付します。)

【青少年向け啓発事業とは】

横浜市内の学校及び団体の青少年 (小学校高学年・中学生・高校生) を対象に、エイズについての
正しい知識の普及及び患者・感染者への理解を図るために、センターが委託した NPO/NGO 等か
ら講師を派遣し、エイズに関する講演会やワークショップを無料で実施します。

お問い合わせ：横浜 AIDS 市民活動センター TEL 045-650-5421

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説！

おーぷん
URL <https://yaaic.gr.jp/>

発行：横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜 YMCA が横浜市から事業
を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町 3 丁目 39 番
地尾上町ビル 9F / TEL: 045-650-5421
FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaaic.gr.jp
平日: 13:00~20:00 / 土・祝: 10:00~17:00
休館: 日 / 火
監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

特集 人権について考える！

性・エイズに関する学習会 2020

《 自分と相手を大切にすることって？ 》

～若者の性の現状と産婦人科医の課題～

日時：2020 年 3 月 20 日 (金・祝) 10:30~12:00

講師：遠見 才希子さん『ひとりじゃない～自分の心とからだを大切にすることって？』

内容：「付き合う」とは、「相手の所有物になる」ことではありません。相手と
の関係を良好と思いたい気持ちのために、こころと体もちぐはぐになっ
てしまう。それは子どもだけではなく大人にもあることではないでしょ
うか？2019 年は性被害、性暴力、虐待など悲しい事件が続きました。
今一度、新しい知識を共に学びましょう。



一講師経歴一医大入学後、性教育のピアエデュケーションを全国で行い、「えんみちゃん」
の愛称で人気のある現役産婦人科医。筑波大学大学院社会精神保健学在学中

会 場：横浜 AIDS 市民活動センター

横浜市中区尾上町 3 丁目 39 番地尾上町ビル 9F
JR 関内駅北口/地下鉄関内駅 1 番出口より徒歩 1 分
丸三証券のビルの 9 階です。

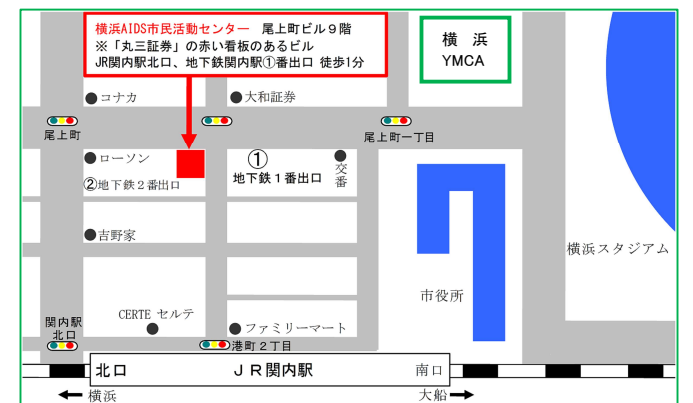
定 員：15 人 事前申込・先着順
2 月 14 日 (金) 13 時より受付開始

参加費：無料

申込方法：件名に「3 月講座申込」、
本文にお名前・ご連絡先をご記入の上、
横浜 AIDS 市民活動センターまで
E-mail か FAX でお送りください。
(受付後、折り返しご連絡いたします。1 週間経っても
返信がない場合はお手数ですがお電話ください。)

E-mail info@yaaic.gr.jp

FAX 045-650-5422



講座に関するお問い合わせは：
横浜 AIDS 市民活動センター TEL 045-650-5421

特集「人権について考える！」



キャンペーン
シンボルは
蝶です！

「3月1日は 差別ゼロデー！」

「差別ゼロデー」ってどんな日でしょうか？ 初めて聞いた人もいるかもしれません。

【歴史】

2013年12月1日、オーストラリアのメルボルンで開かれた世界エイズデーの式典で、国連合同エイズ計画(UNAIDS)により、「差別ゼロデー」が発表され、2014年3月1日スタートしました。
新しいキャンペーンが毎年行われます。

【2019年のキャンペーン「いまこそ動こう 法律から 差別をなくすために」】

HIV/エイズに対する正しい知識・理解がないことから、いまだに偏見や差別が根強く残る国や地域が数多くあります。偏見や差別を恐れてHIV/エイズなどの検査を拒み、その結果、必要な治療や支援サービスを受けられない事例、そして感染がさらに拡大する実態も報告されています。

法律は、最も弱い立場に置かれ支援を必要とする人たちを守るためにあります。

国連合同エイズ計画では差別ゼロデーの成立を通して、国連加盟国にHIV/エイズに対する差別偏見を助長する法律や政策の撤廃や変更を強く求めています。

【課題】

国連加盟国の政治的違いは、国連の活動を遅らせることがあります。一部の国では国民が貧困により、必要なサービスや情報にアクセスできないことがあり、現在も偏見や差別が残る国々や地域が数多くあります。問題があるのは、差別する側です。

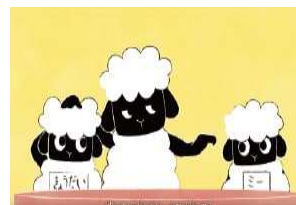
「3月1日・差別ゼロデー」はあらゆるかたちの差別をなくすために、
世界が連帯することを支える日でもあります。

自分が受けているものが、「虐待・暴力」だと
知らない子どもたちをひとりでもなくしたい！



☆☆☆ YouTube:子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」 ☆☆☆
認定NPO法人3keysが制作した虐待、性暴力デートDVの動画です。
対象は年齢・性別に関係なく、内容は重すぎず、
軽すぎず、最適な相談先も紹介しています！
家族・親戚編、恋人・パートナー編に分かれていて、
それぞれ1分ほどのアニメーションでできています。

詳しくは⇒<https://3keys.jp/mee/>



2019年12月2日

横浜市パートナーシップ宣誓制度がスタートしました！

横浜市人権施策基本指針の理念に基づき、様々な事情によって、婚姻の届出をせず、あるいはできず悩みや生きづらさを抱えている性的少数者や事実婚のふたりを対象とした制度を開始しました。
(満20歳以上の市内に住んでいるカップル)

【横浜市のパートナーシップの定義】

パートナーシップとは「お互いを人生のパートナーとし、共同生活において対等な立場で、必要な費用を分担し、相互に責任をもって協力しあうことを約束したふたりの関係」のことです。
神奈川県内では横須賀市、小田原市などがすでにスタートしていて、全国では29例目の自治体になります。

【具体的な内容】

法的な効力はありませんが、市営住宅への入居など支援策が検討されています。携帯電話の家族割や生命保険の受取指定などのサービスを行っている会社もあります。

横浜市パートナーシップ宣誓制度に関するお問い合わせ・相談
横浜市民局人権課 TEL:045-671-2718



国際連合は2020年に創立75周年を迎えます！

1945年、世界の平和と安全を維持すること、経済・社会・文化などに関する国際協力をするために創設されました。
国連75周年記念(UN75)にむけ、全世界で国境や部門、世代を超えて、世界の未来を一緒につくろうと呼びかけています。

一人ひとりの幸せがあって、すべての人の人権が保障されることが、人間社会の大切な骨組みです。人権は学ぶことで習得できます。学ぶことは、若い時だけではなく大人になってからも可能です。誰も取り残されない社会は違いを尊重してこそ創られていきます。女だから、年だから、病気だからといった、自分で変えられない理由のせいで、何かをあきらめなくてもよい社会をわたしたちは応援しています！

ひとりひとり、自分の人生をデザインできることがすばらしいのです！

コムちゃんより

